

希望坂(北中だより)

第12号 令和5年10月19日

みやき町立北茂安中学校

校長 古賀 健司

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>



学校教育目標

「夢や目標をもち

チャレンジ精神と思いやりの心に

満ちあふれた生徒の育成」



◇地域貢献◇

10月15日(日)の夕方、本校2年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが、石貝地区で烏骨鶏(うこっけい)が飼育小屋から逃げ出しているのに気づき、悪戦苦闘しながらも、地域の方と協力して捕まえてくれました。飼い主の方も感謝されていたとのことです。

「捕まえようと一生懸命な姿に感動しました」と、地域の方から連絡がありました。4名の頑張りを聞いて、とてもうれしく思いました。



◇がん教育講演会◇

10月12日(木)、地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館から、消化器内科医長である富永直之 先生をお迎えし、『がんってなあに?』と題してご講演いただきました。

これは、本校が佐賀県教育委員会の委託を受けて実施している「佐賀県がん教育総合支援事業」の一環で、がん患者やそのご家族の命や人生に日々向き合う医師として、がんについて中学生に知ってほしいこと(がんとは何か、予防や早期発見・早期治療の重要性やその方法等)について、具体例を示しながら丁寧にお話いただきました。

日本人の2人に1人ががんになり、5人に1人ががんで亡くなるなど、とても身近な疾病であることや、自分や家族のためにできることを実行してほしいと呼びかけられていました。



◇三養基地区ネットワーク指針◇

情報通信機器の不適切な使用が、様々な方面で社会問題となっています。小中学生の心身の健康への影響についても心配される状況があることを受けて、三養基地区PTA連絡協議会において「三養基地区ネットワーク指針」が作成され、最低限のルールとして各家庭において取組をお願いする文書が出されました。本日生徒を通じてプリントを配布しておりますのでご確認ください。身近で起こっているトラブル事例について親子で理解を深めたり、「三養基地区ネットワーク指針」をご家庭内に掲示いただいたりするなど、ご活用ください。（※本校HPにも掲載しています。）

▲トラブル例

- ・返信が遅れたことで、仲間外れやいじめにあった。返信が勉強のさまたげになる。
- ・特定の児童・生徒を誹謗中傷する内容を、ネット上に書き込む（書き込まれる）。
- ・不確かな噂を信じ、集団による暴力行為へと発展する。
- ・スマホで不適切な画像を撮影し、安易にネット上へ掲載や他人へ送信した事で、他人から脅しを受ける。
- ・スマホを操作しながら自転車を運転し、事故を起こす（事故に巻き込まれる）。
- ・深夜までスマホやゲームをし、朝が起きづらい。学習意欲も低下する。（小学生でも）
- ・保護者が知らない内にゲームなどで課金をし、後日、多額の請求が来る。

三養基地区ネットワーク指針

～子どもたちを守ろう～

- **使用時間**を決め、**終了時刻**※1を相手に伝える。
- **個人情報**※2を絶対に**載せない**。
- 危険なサイト、不審なメールを**開かない**。 ※3
- 誰かを傷つける表現や、誤解される表現がないか**確認してから送信**する。
- **電子通信機器**※4を寝室に**持ち込まない**。
- 困ったことがあったら**すぐに周りの大人に相談する！**

※1. 中学生は夜10時まで、小学生は夜9時まで

※2. 個人情報・・・名前・住所・電話番号・写真・ID等の個人が特定される情報

※3. 大人がフィルターを設定する事も必要

※4. 電子通信機器・・・携帯・スマホ・タブレット・パソコン・ゲーム機などの情報通信機器